

三島ダム洪水吐技術検討会（第6回） 議事概要

- 1 日 時 令和4年10月18日（火）午後2時から午後4時00分まで
- 2 場 所 千葉県教育会館（別館）第3会議室
- 3 議 事 風化対策の追加、工程計画の見直し等
- 4 検討会出席者

委員長 たなか 田中 ただつぐ 忠次 東京大学名誉教授

委 員 なつか 長束 いさむ 勇 島根大学名誉教授

委 員 たがしら 田頭 ひでかず 秀和 国立研究開発法人

農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究部門 施設工学研究領域
施設整備グループ長

事務局 千葉県農林水産部耕地課基盤整備室

5 議 事 概 要

検討会では、以下のとおり会議を開催しました。

- 1) 千葉県で検討した対策案の内容について、報告を行いました。
 - (1) 風化対策の追加
 - (2) 工程計画の見直し
 - (3) 工事期間中の水運用を考慮した断面形状の変更
- 2) 報告内容について、委員から以下の意見をいただきました。
 - ・事務局案について、了解した。
 - ・風化対策については、掘削後、地山表面を乾燥させないように速やかにコンクリート吹付けを行う。
 - ・本設のウィープホールは、パイピング（※1）等を引き起こし、弱部を形成しないよう地山の地質を考慮し、現場状況に適したフィルターを使用すること。
 - ・地山の安定計算は、文献D級（※2）中央値と試験結果に基づいた値の両方で確認すること。

※1 パイピング：ダム内外の水位差により、土中に管状の水みちを形成し、水が噴き出す現象のこと

※2 D級：岩級区分がD級であり、軟質な部分のこと